

## 東京2020オリンピック・パラリンピック開催期間中に 横浜港における物流対策を実施します

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会期間中において、首都圏の円滑な物流機能を確保し、荷主企業等に安心してご利用いただける「使いやすい港」であり続けることを目指して、「第3回横浜港物流対策会議」を令和3年6月3日（木）に開催し、横浜港における開催期間中の物流対策として3つの施策を実施することを決定いたしました。

なお、本会議は、国際コンテナ戦略港湾である横浜港の官民関係者が一体となり、各団体の実務責任者の参加により、令和元年7月24日に設立されたものです。

### 1 対策期間

令和3年7月1日（木）から令和3年8月14日（土）まで（予定）

※横浜港内の混雑状況により延長する場合があります。

### 2 横浜港における物流対策

#### 施策1 ふ頭内交通対策

東京港から横浜港への物流ルート変更等に伴う横浜港の交通量増加に対応するため、臨時待機場の設置や交通誘導員を増員し、港内の円滑な交通を確保します。

#### 施策2 臨時コンテナ置場等の設置

東京港から横浜港への物流ルート変更等に伴うターミナル内の貨物量増加に対応するため、一時的に利用を休止している本牧ふ頭D5ターミナルに臨時コンテナ置場等を設置します。

#### 施策3 物流対策支援（※はしけ利用促進に対する支援）

東京港の混雑及び都内の交通渋滞の緩和を図るため、横浜港を利用した海上輸送であるはしけ輸送（コンテナバージ輸送）に対し支援を行い、横浜港利用を促進するとともに京浜港一体となった円滑な港湾作業を確保します。

※はしけ…自走できない特殊な港運船。コンテナバージ（コンテナ専用はしけ）輸送は大量のコンテナ輸送が可能で、大きな省エネ効果が見込めます。

### 3 緊急時の連絡体制について

オリンピック・パラリンピック期間中の交通規制情報等の提供やターミナル周辺の交通障害が発生した場合等に備え、連絡体制を確立します。

お問合せ先

港湾局物流運営課 担当課長 山本 智 Tel 045-671-2919

# ・施策の具体的な内容

## 施策1 ふ頭内交通対策

- ・ 本牧ふ頭B Cターミナルの並び対策として、本牧ふ頭A突堤の臨時待機場を、混雑状況に合わせて開放し、車両誘導員を増員します。
- ・ 本牧ふ頭D突堤において、混雑状況に合わせて車両誘導員を増員します。



## 施策1 ふ頭内交通対策

- ・ 南本牧ふ頭及び大黒ふ頭においては、交通状況に合わせて、混雑発生時等に車両誘導員を増員します。

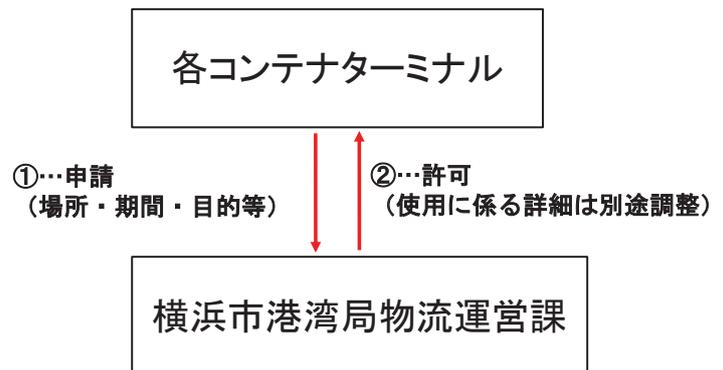
※臨時待機場の設置はありません。



## 施策2 臨時コンテナ置場等の設置



- ・本牧ふ頭D5ターミナルを活用し、臨時コンテナ置場等を設置します。
- ・使用希望のあるコンテナターミナルは、港湾局にお申し込みください。
- ・使用に係る詳細は、後日、各ターミナルへ別途通知します。



### ※臨時コンテナ置場等使用に係る留意点

- ・使用に係る費用負担はありません。
- ・荷役及び管理に係る費用は申請者負担となります。(荷役機械、警備員・誘導員等)
- ・対策期間を超えての使用はできません。(対策期間：7月1日～8月14日(予定))

## 施策3 物流対策支援(はしけ利用促進に対する支援)

### 物流対策支援(はしけ利用促進に対する支援)

#### 1 支援内容

横浜港⇄東京港、横浜港⇄千葉港のはしけ利用に対して輸送費用の一部支援を実施

#### 2 支援対象者

船社

#### 3 申請方法

横浜川崎国際港湾株式会社(YKIP)より別途ご案内いたします。